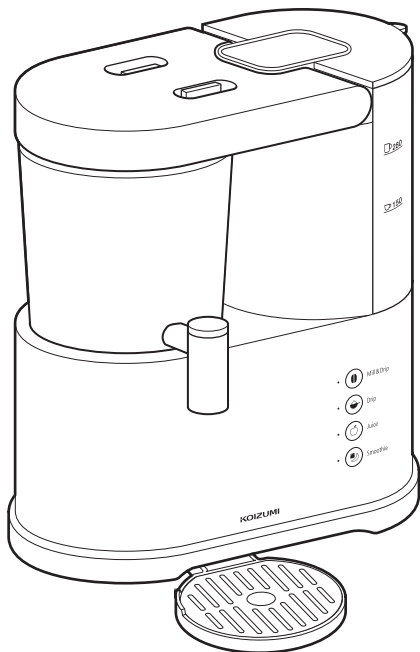


2WAYコーヒー&ミキサー KKM-1002

取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	5
知っておいていただきたいこと	6
安全機能(ミルホルダー・ミキサーボトル・ミルふた検知装置)について	6
給水目盛について	6
水もれ防止弁について	6
モーター保護装置について	6
各部の取り付けかた・取り外しかた	7~9
ミキサー使用時の禁止材料について	10
はじめてご使用になる前に	11~12
コーヒーをいれる	13~16
付属の計量スプーンの分量について	13
コーヒー豆・コーヒー粉 給水量の目安	13
上手な使いかた(より温かく飲むために)	13
ジュース/スムージーをつくる	17~18
レシピ	18
お手入れのしかた	19~20
故障かな?と思われたときは	21~22
仕様	23
別売部品について	24
アフターサービスについて	25
お客様の個人情報のお取り扱いについて	25
保証・無料修理規定	26
保証書	27
お客様相談窓口	27

このたびは、コイズミ 2WAYコーヒー&ミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。


なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

●特に1~4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

■ 電源

●定格15A以上のコンセントを単独で使用する。また、延長コードを使用しない。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



●電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。
ショート・火災の原因となります。

●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火・発煙の原因となります。

●AC100V以外では使用しない。(日本国内専用)
火災・感電の原因となります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発熱・発火の原因となります。



●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、重い物をのせたり、はさみ込んだり、高温部に近づけたりしない。
火災・感電の原因となります。

●電源コードを本体に巻き付けない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電やけがの原因となります。

警告

■ 取り扱い



- 改造はしない。修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理をしない。
火災・けが・感電の原因となります。
※故障したときは、コンセントから電源プラグを抜き、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



- 異常・故障時は直ちに使用を中止する。
〈異常・故障例〉
 - ・異常なおいが出たり、煙が出る。
 - ・触れるとビリビリと電気を感じる。
 - ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
 - ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。発煙・発火・感電の恐れがあります。
※すぐに電源プラグを抜いて、点検・修理を依頼してください。



- 取り扱いに不慣れな方や子供だけで使わせない。また、乳幼児の手が届くところで使用しない。
やけど・けが・感電の原因となります。
※取り扱いに不慣れな方やお子様をご使用されるときは、そばに付いてあげてください。
- 落としたり、衝撃を加えない。
感電・故障の原因となります。
- カッター、回転部を露出したままで運転しない。
やけど、感電、けがをする恐れがあります。
- バスケット、ミキサーボトル、給水タンクを取り外した状態で運転しない。
やけど・けが・故障の原因となります。



- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。
感電・ショート・故障の原因となります。

■ 使用場所



- 火気の近くで使用しない。
火災の原因となります。
- ガスレンジやIHクッキングヒーターなどの上ののせて使用しない。
火災の原因となります。
- 燃えやすい物や熱に弱い物の近くで使用しない。
火災の原因となります。



- 水のかかるところや、本体の底部がぬれるところで使用しない。
感電・ショート・故障の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

■使用中や使用後



- 運転中や運転終了後しばらくは、蒸気に手や顔を近づけない。また、高温部に触れない。
やけどの原因となります。



- 運転中にふたを開けたり、容器の中へ指・スプーン・はしなど、調理材料以外を入れない。
けがをする恐れがあります。

⚠ 注意

■電源



- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電・ショートの原因となることがあります。
- 電源スイッチが「OFF」になっていることを確かめてから、電源プラグを抜き差しする。
けがの原因となります。



- 使用時以外は必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
やけど・けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

■取り扱い



- 給水タンクに水以外の物（牛乳・紅茶・酒など）を入れて運転しない。
また、バスケットにコーヒー豆・コーヒー粉以外の物を入れて運転しない。
異常動作によるやけど・けが・故障の原因となります。

- 給水タンクを本体に取り付けた状態で蛇口から直接水を入れない。
本体に水がかかり、故障の原因となります。

- 業務用として使用しない。
故障の原因となります。



- カッターに直接手を触れない。
けがの原因となります。

■使用場所



- 不安定なところで使用しない。
本体が傾いていると、すべり落ち、やけど・けがの原因となります。

- 壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。

- 屋外で使用しない。
火災・故障の原因となります。

注意

■使用中や使用後



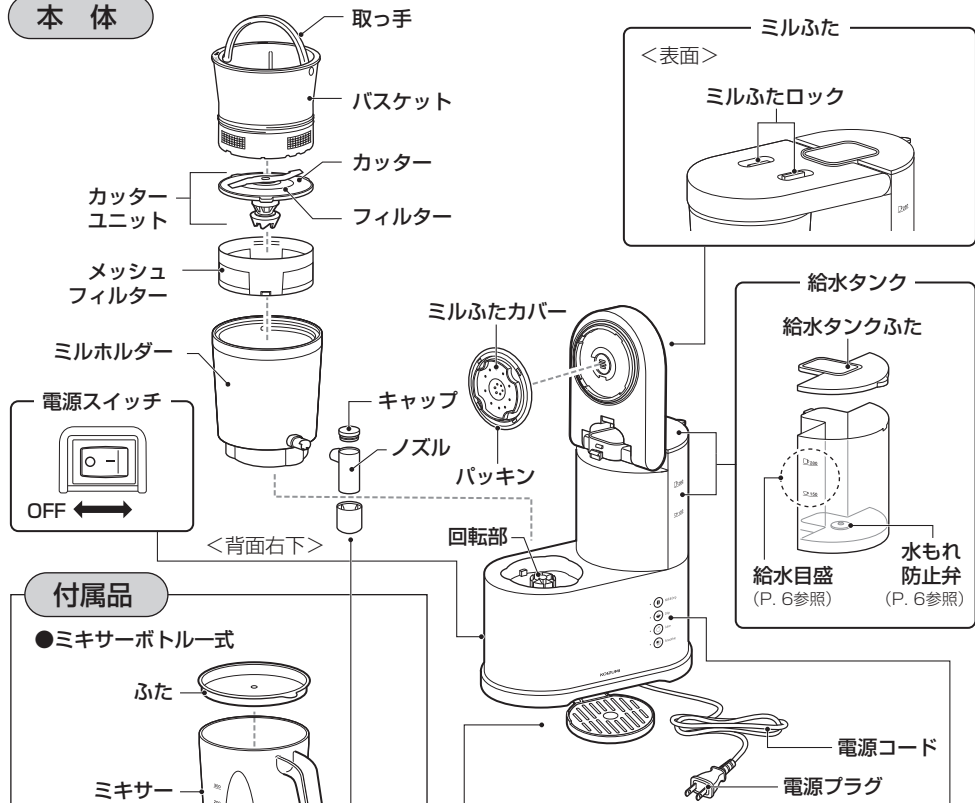
- 運転中にミルふた・給水タンクふたを開けたり、各部の取り外しをしない。
やけどの原因となります。
- 運転中や運転終了直後に絶対に給水タンクに水を入れない。
蒸気や熱湯がふきだして、やけど・けがの原因となります。
- 運転中に移動させない。
やけど・けがの原因となります。
- お手入れの際、熱湯で洗ったり、食器洗い機を使って洗わない。また、食器乾燥機、食器洗い乾燥機を使って乾燥させない。
故障・破損の原因となります。
- 給水タンクの「280」線以上水を入れない。
ふきこぼれて、やけど・故障の原因となります。
- 空だきはしない。
故障・火災の原因となります。
- ミネラルウォーターなどミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）を多く含む水は使用しない。
本体内部に水あかが付着し、故障の原因となります。
- ノズルキャップを装着したままドリップしない。
やけど・故障の原因となります。
- ミキサーは定格時間（4分）以上使用しない。また、使用後は必ず30分以上時間をおいてから使用する。
故障・破損の原因となります。



- お手入れや持ち運びは、必ず本体が冷めてから行う。
やけどの原因となります。
- お手入れ後は、必ずパッキンを確実に取り付ける。
パッキンがずれた状態で使用すると、水がもれたり、ふきこぼれてやけどや故障の原因となります。
- ドリップ使用後は連続で使用せず、10分以上冷ましてから使用する。
やけど・故障の原因となります。
- 運転終了後、コーヒー粉を放置せず早めに捨てる。
カビや雑菌が繁殖する原因となります。
- 持ち運びの際は、給水タンクを持たず、本体を両手で持つ。
給水タンクが外れて本体が落下し、やけど・けがの原因となります。

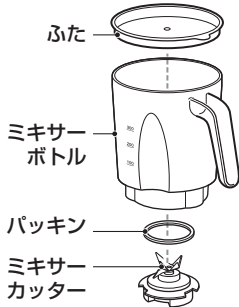
各部のなまえ

本体



付属品

●ミキサーボトルー式



●ノズルキャップ

流し台に持って行くまでの滴たれを防止します。
やけどの恐れがあるため、ドリップ終了後
しばらくしてから装着してください。

●受け皿

●計量スプーン

(P. 13参照)



●取扱説明書

(本書：保証書付)



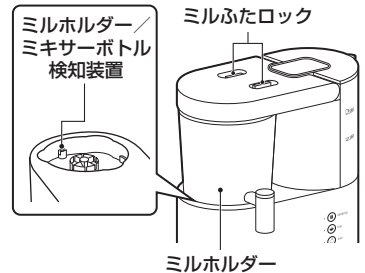
操作ボタン



知っておいていただきたいこと

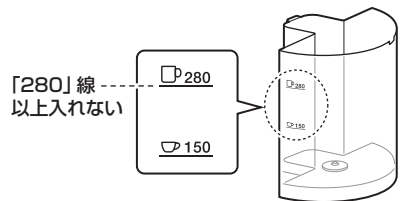
■安全機能（ミルホルダー・ミキサーボトル・ミルふた検知装置）について

- ミルホルダー／ミキサーボトルをしっかりと取り付けないと、安全機能（ミルホルダー／ミキサーボトル検知装置）の働きで通電しないようになっています。通電すると操作部のランプが全点滅します。
- ミルふたを正しく取り付けないと、安全機能（ミルふた検知装置）の働きで、運転しないようになっています。運転前に、ミルふたが確実に取り付けられ、ロックされていることを確認してください。（ミルふたの取り付けかたは、P. 7参照）



■給水目盛について

- 「280」線以上水を入れしないでください。ふきこぼれてやけどや故障の原因となります。また、空だきはしないでください。故障・火災の原因となります。
- 水がコーヒー粉に吸収されるため、コーヒーの出来上がりの容量は、給水量より多少減少します。

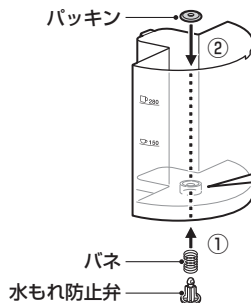


■水もれ防止弁について

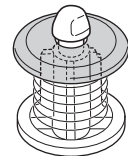
- 給水タンクの底部の水もれ防止弁の働きで、給水タンクを取り外しても水を入れても水がもれないしくみになっています。
- 水を入れた後、水もれ防止弁を押さしないでください。水もれ防止弁が外れて水もれする恐れがあります。

水もれ防止弁が外れたときは

- ①水もれ防止弁にバネを付けた状態で、給水タンクの底に差し込みます。
- ②水もれ防止弁を底から押さえながら、給水タンクの内側からパッキンを取り付けます。



※パッキンは、水もれ防止弁の溝に取り付ける



<正しく取り付けられた状態>

■モーター保護装置について

- 材料の入れすぎなどでモーターに負荷がかかると保護装置が働いて運転が止まりますが、故障ではありません。その場合は以下のようにして直してください。

- ①電源スイッチを「OFF」にする。
- ②電源プラグを抜く。
- ③材料を減らす。

・カッターのまわりに材料が付着しているときはヘラなどで取ってください。

- ④しばらくしてから（20～30分）電源プラグをコンセントに差し込み、運転を開始する。

以上の処置をしても、たびたび運転が停止するときは、お買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

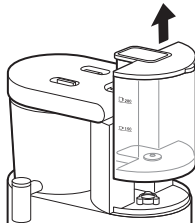
各部の取り付けかた・取り外しかた

※必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

給水タンク

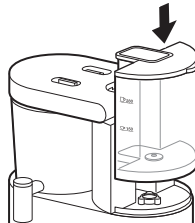
取り外し

本体を支え、上方向に引き抜く。



取り付け

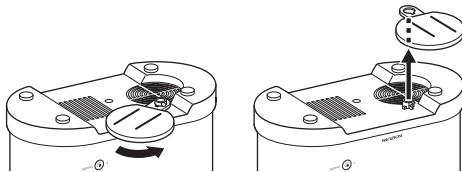
本体に真っ直ぐに差し込む。



受け皿

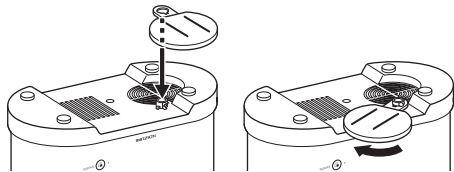
取り外し

- ①止まるまで右に回す。
- ②そのまま上方向に引き抜く。



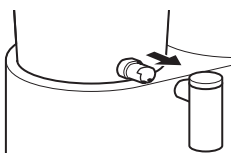
取り付け

- ①本体底面の突起部と、受け皿の穴の形状を合わせて差し込む。
- ②止まるまで左に回す。

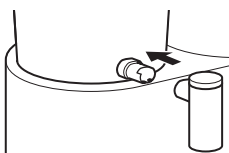


ノズル

取り外し



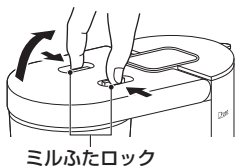
取り付け



ミルふた

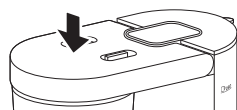
取り外し

本体を支え、ミルふたロックをつまみながら持ち上げる。



取り付け

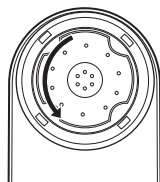
ミルホルダーにかぶせ、「カチッ」と音がするまで押さえる。



ミルふたカバー

取り外し

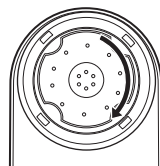
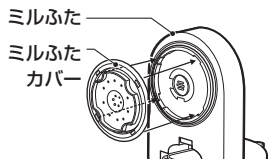
矢印の方向に回して取り外す。



取り付け

①ツメをミルふたの凹部に合わせてはめる。

②止まるまで矢印の方向に回す。

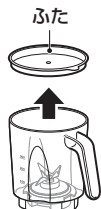
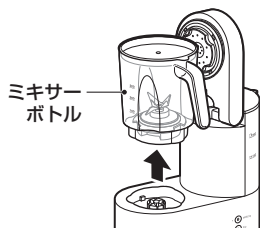


※パッキンの取り付けは P.19を参照してください。

ミキサーボトル

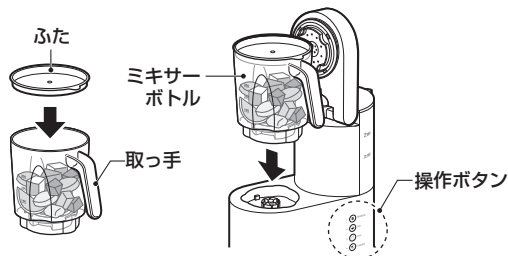
取り外し

本体を支え、上方向に引き抜く。



取り付け

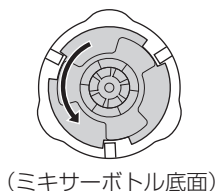
取っ手が操作ボタン側になるように底部の形状を合わせ、本体に真っ直ぐに差し込む。



ミキサーカッター

取り外し

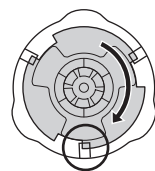
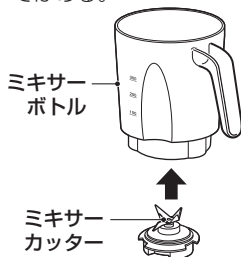
矢印の方向に回して取り外す。



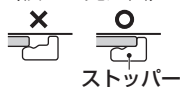
取り付け

①カッターをミキサーボトル底部の穴に合わせてはめる。

②ストッパーの奥に突き当たるまで矢印の方向に回す。



(横から見た図)



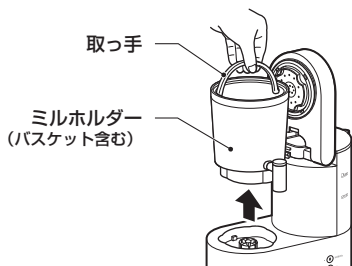
※パッキンの取り付けは P.20を参照してください。

各部の取り付けかた・取り外しかた

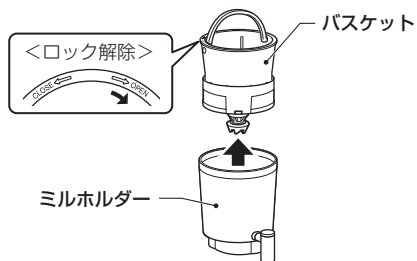
ミルホルダー／バスケット

取り外し

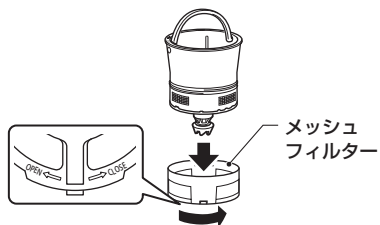
- ①バスケットの取っ手を持ち、本体を支え、上方向にミルホルダーごと引き抜く。



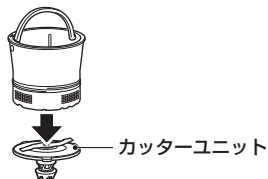
- ②バスケットの取っ手を持ち、バスケットをOPENの方向（右回り）に回してロックを解除し、上方向に引き抜く。



- ③バスケット下部のメッシュフィルターをOPENの方向（右回り）にまわして取り外す。

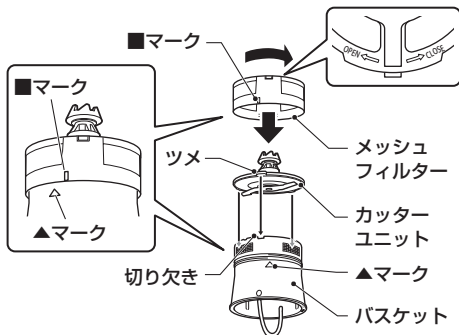


- ④バスケットからカッターユニットを取り外す。

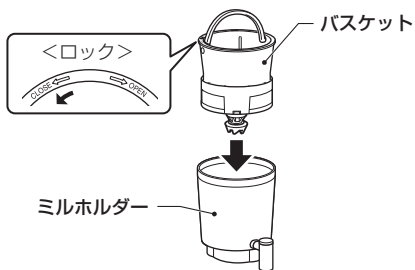


取り付け

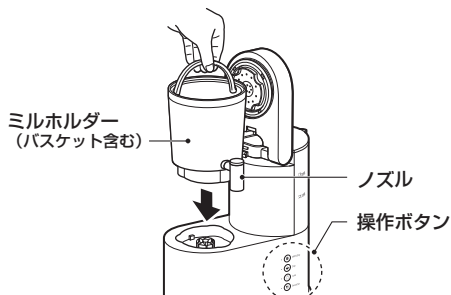
- ①バスケットの切り欠きにカッターユニットのツメを合わせてはめ込んでから、バスケットの▲マークがメッシュフィルターの■マークより左になるまでCLOSEの方向（左回り）にまわして取り付ける。



- ②バスケットをミルホルダーに差し込み、CLOSEの方向（左回り）にまわしてロックする。



- ③ノズルが操作ボタン側になるように底部の形状を合わせ、バスケットを取り付けたミルホルダーを本体にしっかりと差し込む。



ミキサー使用時の禁止材料について

●下記の材料は使用しないでください

故障・破損の原因となります。

- 肉、魚類



- かたい物、乾物類
(大豆・冷凍食品など)



- ねばり気の強い物
(とろろいも・ゆでたじゃがいもなど)



- 氷だけの粉碎



- 食材だけの粉碎
(水分を適量入れてください)

●40℃以上の熱い材料は冷ましてから入れてください

熱い材料を入れると、ふきこぼれたりボトルが割れて、やけど・けがの原因となります。

はじめてご使用になる前に

はじめてご使用になるときや、長期間ご使用されなかった場合、本体内部にほこりなどが付着している可能性があります。

以下の手順で本体内部を洗浄してからご使用ください。

※必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

●各部の取り外しかた・取り付けかたは、P. 7～P. 9を参照してください。

1 各部を取り外して水洗いをし、水気を十分に拭き取る。

2 ミルホルダー、給水タンクを本体に取り付け、ミルふたを閉じる。

※ミルふたがしっかり閉じられていないと安全機能が働き、運転できません。(P. 7参照)

3 給水タンクに「280」線まで水を入れ、給水タンクふたを取り付ける。

●「280」線まで入れたときの水の容量は280mℓです。

ご注意

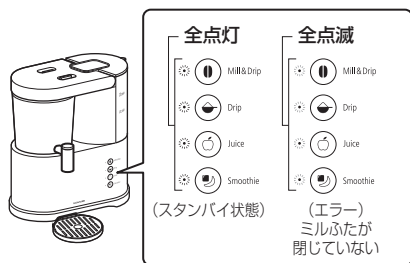
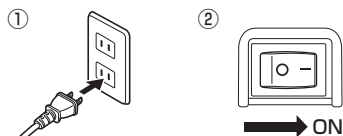
- 「280」線以上水を入れない。
ふきこぼれて、やけどや故障の原因となります。
- 給水タンクを本体に取り付けた状態で蛇口から直接水を入れない。
本体に水がかかり、故障の原因となります。



4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にする。

●電子音が「ピーッ」と鳴り、操作部のランプが青色に全点灯して、スタンバイ状態になります。

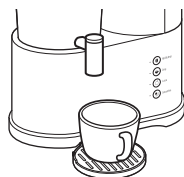
※ミルふたがしっかりと閉じていない場合、操作部のランプが青色に全点滅します。



5 受け皿の上にお手持ちの耐熱のカップをセットする。

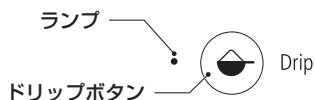
ご注意

- 給水タンクに入れた水の容量（「280」線まで：280mℓ）に合わせたカップを使用する。



6 ドリップボタンを押す。

- ドリップボタンのランプのみが青色に点灯します。
- 自動的にドリップを開始します。



中止するとき

ドリップボタンを押す。

- 操作部のランプが全点灯し、スタンバイ状態になります。

ヒーターが切になると

- 電子音が「ピーッ」と3回鳴り、操作部のランプが全点灯します。

ご注意

- 電子音が鳴った後もノズルから湯が出ます。

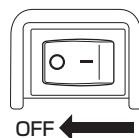
ご注意

- 運転中や運転終了後しばらくは、蒸気に手や顔を近づけない。また、高温部に触れない。やけどの原因となります。
- 運転中にミルふた・給水タンクふたを開けたり、ノズルや各部の取り外しをしない。やけどの原因となります。
- 運転中や運転終了直後に絶対に給水タンクに水を入れない。蒸気や熱湯がふきだして、やけど・けがの原因となります。

7 ノズルから湯が出なくなったらカップを取り、電源スイッチを「OFF」にする。

※ドリップしたお湯は捨ててください。

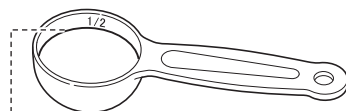
※においが気になるときは10分以上冷ましてから、同じ手順で繰り返し洗浄を行ってください。



コーヒーをいれる


■付属の計量スプーンの分量について

付属の計量スプーン1杯の分量は、コーヒー豆は約6g、コーヒー粉は約8g(すり切り)です。
(コーヒー豆は種類や焙煎度合いによって重さが多少異なります。)



半分の位置に印が付いています。

■コーヒー豆・コーヒー粉・給水量の目安

カップ	コーヒー豆	コーヒー粉	給水量	出来上がり量	所要時間
	約12g (付属の計量スプーン2杯)	約12g (付属の計量スプーン1.5杯)	150mℓ	約125mℓ	コーヒー豆から 約3分00秒 ----- コーヒー粉から 約2分30秒
	約16g (付属の計量スプーン2.5杯)	約20g (付属の計量スプーン2.5杯)	280mℓ	約250mℓ	コーヒー豆から 約5分30秒 ----- コーヒー粉から 約4分00秒

- 出来上がり量や所要時間は目安です。使用する豆の種類や環境により異なります。
- 出来上がり量は、水がコーヒー粉に吸収されるため、給水量よりも多少減少します。
- コーヒー豆やコーヒー粉の量は、お好みにより加減してください。
※コーヒー豆やコーヒー粉を入れすぎると、コーヒーがあふれ出し、故障の原因となります。
本製品で使用できる量は、コーヒー豆・コーヒー粉どちらも約20gまでです。
- コーヒー粉は、粗挽き、または中挽きの物をご使用ください。
※細挽きを使用すると、コーヒー粉が混入したり、フィルターが詰まって本体からコーヒーがあふれる恐れがあります。

■上手な使いかた(より温かく飲むために)

- 冬場などは、カップを温めてからご使用ください。
- 保温用の二重構造のカップをご使用いただくと、より冷めにくくなります。

※必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

※はじめてご使用になるときや、長期間で使用されなかった場合は、本体内部を洗浄してください。

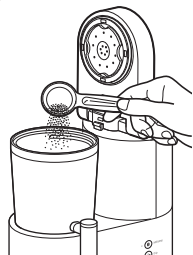
(P. 11 ~ P. 12 参照)

●各部の取り外しかた・取り付けかたは、P. 7 ~ P. 9を参照してください。

1 受け皿を取り付ける。

2 ミルふたを開いてコーヒー豆、またはコーヒー粉を入れ、ミルふたを閉じる。

※ミルふたがしっかり閉じられていないと安全機能が働き、運転できません。(P. 7参照)



ご注意

- カッターに手を触れない。
けがの原因となります。
- コーヒー豆やコーヒー粉は片側に片寄らないようにできるだけ平らに入れる。
また、湿ったコーヒー豆を使用しない。
コーヒー豆がうまく挽けなかったり、うまくドリップできない原因となります。

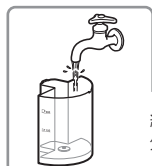
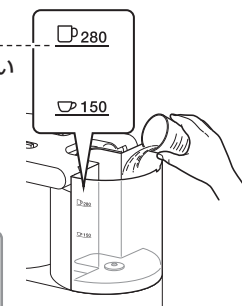
3 給水タンクに水を入れ、給水タンクふたを取り付ける。

●入れる水の容量は、P. 13を参照してください。

ご注意

- 「280」線以上水を入れない。
ふきこぼれて、やけどや故障の原因となります。
- 給水タンクを本体に取り付けた状態で蛇口から直接水を入れない。
本体に水がかかり、故障の原因となります。

「280」線
以上入れない

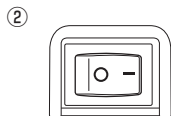
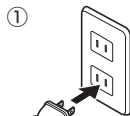


給水タンクは本体から取り外して水を入れられます。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にする。

●電子音が「ピーツ」と鳴り、操作部のランプが青色に全点灯して、スタンバイ状態になります。

※ミルふたがしっかりと閉じていない場合、操作部のランプが青色に全点滅します。

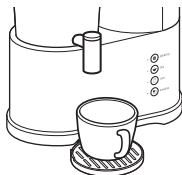


ON

5 受け皿の上にお手持ちの耐熱のカップをセットする。

ご注意

- P.13の「出来上がり量」に合わせたカップを使用する。

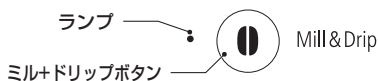


コーヒーをいれる

6

コーヒー豆の場合

ミル+ドリップボタンを押す。



- ミルが動作し、ミル+ドリップボタンのランプが青色に点灯します。
- 約20秒後にミルが停止し、自動的にドリップを開始します。

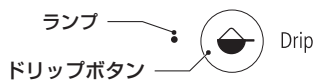
中止するとき

ミル+ドリップボタンを押す。

- 操作部のランプすべてが青色に点灯し、スタンバイ状態になります。

コーヒー粉の場合

ドリップボタンを押す。



- 電子音が「ピッ」と鳴り、ドリップボタンのランプが青色に点灯します。
- 自動的にドリップを開始します。

中止するとき

ドリップボタンを押す。

- 操作部のランプすべてが青色に点灯し、スタンバイ状態になります。

ヒーターが切になると

- 電子音が「ピーッ」と3回鳴り、操作部のすべてのランプが点灯します。

ご注意

- 電子音が鳴った後もノズルからコーヒーが出ます。
- コーヒーの出来上がり温度が低く感じられる場合は、カップを温めてからご使用ください。

ご注意

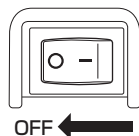
- 運転中や運転終了後しばらくは、蒸気に手や顔を近づけない。また、高温部に触れない。やけどの原因となります。
- 運転中にミルふた・給水タンクふたを開けたり、ノズルや各部の取り外しをしない。やけどの原因となります。
- 運転中や運転終了直後に絶対に給水タンクに水を入れない。蒸気や熱湯がふきだして、やけど・けがの原因となります。

7

ノズルからコーヒーが出なくなったらカップを取り、電源スイッチを「OFF」にする。

ご注意

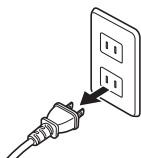
- ノズルからコーヒーが出なくなってからカップを取る。
 - ・コーヒー豆・コーヒー粉の量や種類によっては、終了音が鳴った後も滴下することがあり、やけどの原因となります。
 - ・ノズルからコーヒーが出なくなっても、ミルホルダーや本体を手前に傾けるとコーヒーが出ることがあり、やけどの原因となります。



※続けてコーヒーをいれるときは連続で使用せず、10分以上冷ましてから同じ手順で行ってください。

使用後

1 電源プラグを抜く。

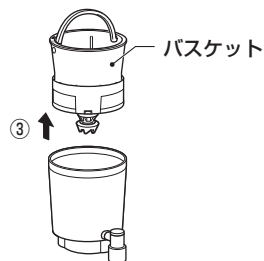
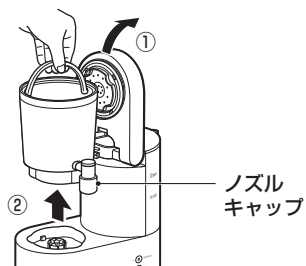


2 本体が冷めてから、コーヒー粉を捨てる。

- ①ミルふたを開く。
- ②ノズルにノズルキャップを取り付けてから、ミルホルダー（バスケットを含む）を取り外し、流し台に持っていく。
※ミルホルダーを取り外す際、ノズルからコーヒーが出る場合がありますので、必ずノズルキャップを奥までしっかり取り付けてから、ミルホルダーを取り外してください。
- ③ミルホルダーからバスケットを取り外す。
- ④バスケット内のコーヒー粉を水を切って捨てる。

ご注意

- コーヒー粉は放置せず早めに捨てる。
カビや雑菌が繁殖する原因となります。



3 お手入れをする。

※ご使用のたびに、必ず各部のお手入れをしてください。(P. 19 ~ P. 20 参照)

ジュース／スムージーをつくる

※必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

●各部の取り外しかた・取り付けかたは、P. 7～P. 9を参照してください。

1 ミキサーボトルを本体に取り付け、材料を入れてふたをし、ミルふたを閉じる。

※ミキサーボトルは取っ手が操作ボタン側になるようにセットしないと動作しません。(P. 8参照)

※ミルふたがしっかり閉じられていないと安全機能が働き、運転できません。(P. 7参照)

※ミキサーボトルにふたが確実に取り付けられていることを確認してください。

材料を入れる順番

1 水分 (水、牛乳など) → 2 かたい物 (氷など) → 3 やわらかい物

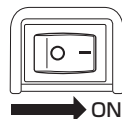
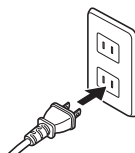


ご注意

- 水分を必ず入れてください。
- 材料は40℃以下に冷ましてから入れてください。
- 材料は2～3cm角に小さく切り、定格容量(300ml)以内におさめてください。
- 禁止材料は入れないでください。(P.10参照)

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にする。

- 電子音が「ピーッ」と鳴り、操作部のランプが青色に全点灯して、スタンバイ状態になります。



3 ジュースの場合

ジュースボタンを押す。



- ミキサーが動作し、ジュースのランプが青色に点灯します。
- 約30秒断続的に運転した後、約40秒連続で運転します。

中止するとき

ジュースボタンを押す。

スムージーの場合

スムージーボタンを押す。



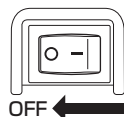
- ミキサーが動作し、スムージーのランプが青色に点灯します。
- 約30秒、連続で運転します。

中止するとき

スムージーボタンを押す。

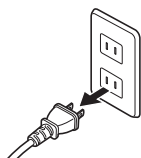
運転が終了すると ●電子音が「ピーッ」と3回鳴り、操作部のすべてのランプが点灯します。

4 調理が終わったら、電源スイッチを「OFF」にして、ミキサーボトルを本体から取り外す。



使用後

1 電源プラグを抜く。



2 お手入れをする。

※ご使用のたびに、必ず各部のお手入れをしてください。(P. 19 ~ P. 20 参照)

レシピ

バナナジュース	
材料 (1人分)	手順
(1)牛乳 150mℓ (2)バナナ 1本	左記順番でミキサーボトルに入れて、 ジュースボタンを1~2回使用する。

オレンジヨーグルト	
材料 (1人分)	手順
(1)プレーンヨーグルト 150mℓ (2)はちみつ 大さじ1 (3)角氷 3個 (4)オレンジ 100g	左記順番でミキサーボトルに入れて、 スムージーボタンを1~2回使用する。

お手入れのしかた

※必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

※ご使用のたびに、各部のお手入れをしてください。

●各部の取り外しかた・取り付けかたは、P. 7～P. 9を参照してください。

ミルふたカバー・ミルホルダー・給水タンク・ノズル・ノズルキャップ・受け皿・ミキサーボトル

●コーヒー粉や食材などが付着している場合はブラシなどで取り除き、台所用中性洗剤とやわらかいスポンジでよく洗ってください。

●ミルふた・ミルホルダー・ミキサーカッターは、パッキンも取り外して洗ってください。(下記参照)

●洗った後は水気を拭き取り、十分に乾燥させてから取り付けてください。

ご注意

●次の物は使用しない。

- ・ベンジン、シンナー、漂白剤、酸類
- ・みがき粉、クレンザー
- ・タワシ、金属タワシ

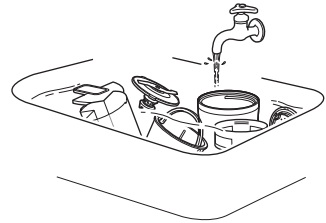
破損・変色の原因となります。

●熱湯で洗ったり、食器洗い機を使用して洗わない。

変形や破損の原因となります。

●お手入れ後は、必ずパッキンを確実に取り付ける。

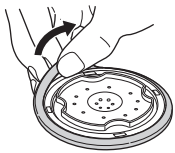
パッキンがずれた状態で使用すると、水がもれたり、ふきこぼれてやけど・故障の原因となります。



ミルふたのパッキン

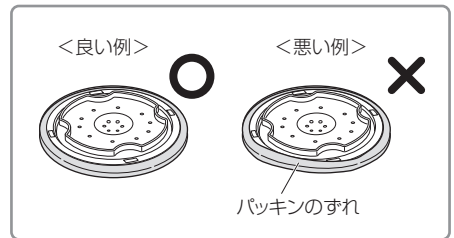
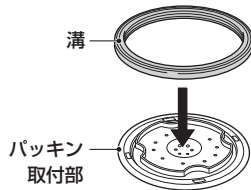
取り外しかた

パッキン取付部からめくるようにして外す。



取り付けかた

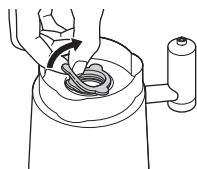
パッキンの溝がある面を上にして、パッキン取付部に確実にはめ込む。



ミルホルダーのパッキン

取り外しかた

底面を上に向け、パッキン取付部からめくるようにして外す。



取り付けかた

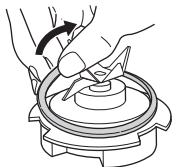
パッキンの突起がある面を上にして、パッキン取付部に確実にはめ込む。



ミキサーカッターのパッキン

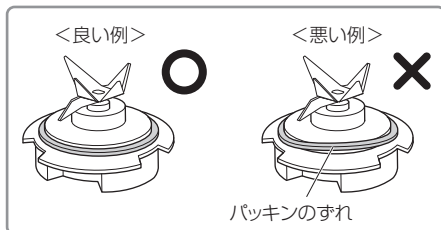
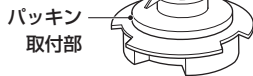
取り外しかた

底面を上に向け、パッキン取付部からめくるようにして外す。



取り付けかた

パッキンの溝がある面を上にして、パッキン取付部に確実にはめ込む。



ご注意

- カッターに直接手を触れない。けがの原因となります。

バスケット、メッシュフィルター、カッターユニット

- 台所用中性洗剤とやわらかいスポンジでよく洗ってください。
- フィルターの網目に詰まったコーヒー粉は、ブラシなどを使って水で洗い流してください。
- 洗った後、水気を拭き取り、十分に乾燥させてから取り付けてください。

ご注意

- カッターに直接手を触れない。けがの原因となります。



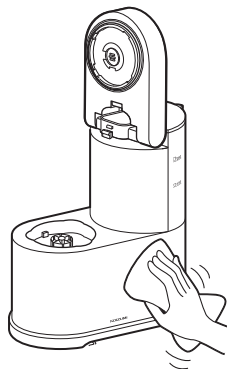
本体外側

やわらかい布で拭いてください。

汚れがおちにくい場合は、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取った後、乾いた布でもう一度拭いてください。

ご注意

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。感電・ショート・故障の原因となります。



故障かな？と思われたときは

修理を依頼される前に、以下のことをご確認ください。

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
操作ボタンを 押ししても動かない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	11 14
	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください。	11 14
	ミルふたが正しく取り付けられていますか？	ミルふたを正しく取り付けないと安全機能が動き、運転できません。「カチツ」と音がするまで押さえ、確実に取り付けてください。	7
コーヒーが ドリップされない	給水タンクに水が入っていますか？	給水タンクに、作るコーヒーの容量に応じた水を入れてください。	13～14
	コーヒー豆、またはコーヒー粉が入っていますか？	作るコーヒーの容量に応じたコーヒー豆、またはコーヒー粉を入れてください。	13～14
	バスケットのフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか？	フィルターに詰まったコーヒー粉をブラシなどで取り除いてください。	20
コーヒー豆が うまくひけない	コーヒー豆が片側に片寄っていませんか？	コーヒー豆をできるだけ平らに入れてください。	—
	湿ったコーヒー豆を使用していませんか？	乾燥したコーヒー豆をご使用ください。	—
ドリップ時間が 長い	バスケットのフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか？	フィルターに詰まったコーヒー粉をブラシなどで取り除いてください。	20
	細挽きのコーヒー粉を使用していませんか？	粗挽き、または中挽きのコーヒー粉をご使用ください。	—
水がもれる	給水タンクに水を入れ過ぎていませんか？	水を「280」線以上入れないでください。	6
	給水タンク・ミルふた・ミルホルダー・バスケットは正しく取り付けられていますか？	各部を正しく取り付けてください。	7～9
	ミルふた・ミルホルダーのパッキンが正しく取り付けられていますか？	各パッキンを正しく取り付けてください。	19
	コーヒー豆、またはコーヒー粉を入れ過ぎていませんか？	作るコーヒーの容量に応じたコーヒー豆、またはコーヒー粉を入れてください。	13
	細挽きのコーヒー粉を使用していませんか？	粗挽き、または中挽きのコーヒー粉をご使用ください。	—

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
ミキサーが空回りする	液体の量が少なすぎませんか？	液体を追加してください。	17
	材料が大きすぎませんか？	2～3cm角に小さく切って、入れなおしてください。	17
	カッターに材料が引っかかっていますか？	電源プラグをコンセントから抜き、材料をすべて取り出して、正しい順番で入れなおしてください。	17
途中でミキサーの運転が止まる	カッターに材料が引っかかっていますか？	電源プラグをコンセントから抜き、材料をすべて取り出して、正しい順番で入れなおしてください。	17
	材料を定格容量以上入れたり、禁止材料を使っていますか？	電源プラグをコンセントから抜き、材料を減らしてください。使えない材料がある場合は取りのぞいてください。その後、正しい順番で入れなおしてください。	10 17
ミキサー使用中に材料がもれる	ミキサーボトルのパッキンやミキサーカッターが正しく取り付けられていますか？	各部を正しく取り付けてください。	8 20
	材料を定格容量以上入れていますか？	定格容量（300mℓ）以内に材料を減らしてください。	17

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	ドリップ使用時：600W ミキサー使用時：150W
稼働時間 (ミキサー)	ジュースボタン：70秒 (2秒運転+1秒停止を10回繰り返し、その後連続運転40秒) スムージーボタン：30秒
定格時間 (ミキサー)	4分 (ジュースボタンまたはスムージーボタンの合計4分、停止30分のくり返し)
回転数(ミキサー)	19700回転/分
定格容量	給水タンク：280mℓ ミキサーボトル：300mℓ
寸 法	約220(幅)×145(奥行)×285(高さ)mm(受け皿を含まず)
質 量	約1.5kg(受け皿を含まず)
電源コードの長さ	約1.5m
抽出方式	ドリップ式
付 属 品	ミキサーボトル、ノズルキャップ、受け皿、計量スプーン、 取扱説明書(本書：保証書)

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

別売部品について

別売部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名 称	型 番
計量スプーン	KKM-008
ミルふたカバー用パッキン	KKM-010
ミキサー用パッキン	KKM-011

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時


- 保証期間中は商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 2WAYコーヒーマシンの補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の2WAYコーヒーマシンの点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか？	<ul style="list-style-type: none">●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。●電源コードを折り曲げると通電したり、しなかつたりする。●異常なおいがしたり、煙が出る。●本体が変形したり異常に熱い。●その他の異常や故障がある。	ご使用中 止 このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

2WAYコーヒーマシナ

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KKM-1002		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分 本体	期間 (お買い上げ日より)	1年
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9:00~17:30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2022年6月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)